

五十歳を迎えた 16期生の皆さんへ

今年度、50歳を迎えられた第16期卒業生【平成5(1993)年3月卒業】の皆さんに向けて、当時の担任団の先生方からメッセージをいただきました。

先生方には同窓会より連絡を取らせていただき、50歳になった皆さんに向けて、字数も内容も特に決めず、自由にメッセージを書いていただくよう、お願いをしました。

皆さんそれぞれの高校時代、そして当時の先生方を思い出しながら、どうぞご覧ください。

3年 4組 小杉(鈴木) 博 先生

16期生の担任だった小杉(旧姓鈴木)です。金井高校創立50周年にあたり、16期生の皆さんに向けてメッセージを発信させていただきたいと思います。

君たちは50歳になりましたが、偶然にも金井高校と同じ年齢です。担任をしている当時はそんなことは全く意識したことはありませんでした。また、私は10周年、20周年の記念式典にも参加していますが50周年の時を想像することができませんでした。

そして、時代も昭和、平成、令和と月日が流れ50周年ということになり、16期生のみんなが金井高校と同じ年齢なんだとあらためて気づきました。それほど50年という年月は長く、伝統が積み重ねられたものだと思います。

さて、皆さん高校を卒業して32年間はどうな人生でしたか？ 色々なことがあったと思いますが、君たちの根っこの一つには高校時代の学校生活があったと思います。色々なことを経験して、色々なことを考え、人生の分岐点を感じた人も多いはずですよ。

人生100年と言われる今現在、50歳の皆さんは、やっと折り返し地点を回ったところです。まだまだ色々なことが出来るはずですよ、また、色々な感動、そして困難もやってきます。健康に気をつけながらしぶとく頑張ってください。

私コスギは高校の教員生活40年になります。最近では生徒たちにはおじいちゃんなどと言われていますが、令和7年度も再任用教員ラスト1年、しぶとく、頑張ってください。

機会があれば会いましょう！！

3年 6組 白井 俊幸 先生

金井高校16期生の卒業生の皆さん、お元気ですか。

もう既にお忘れかとは思いますが、3年6組担任だった国語科の白井俊幸です。

当時、同じ国語科の依田敏和先生と一緒に弓道部顧問をしていたことを覚えている方もいるでしょうか。弓道部は発足当時、部室棟裏の狭い空き地で練習していました。そこで依田先生は、校舎の中庭に練習場を新たに作り、本格的に活動することにしました。当時その場所には多くの紫陽花が植えられていて、その紫陽花を当時の部員たちと一緒に、別の場所に植え替える大変な作業をしたことを昨日のように思い出します。その甲斐あってか、その後金井高校弓道部は、県内大会で次々に優秀な成績を収め、県外大会でも活躍する強豪校になりました。

さて、私はというと、金井高校を含めて5つの高校で、再任用を含めて39年間の教員生活を送り、昨年ようやくフリーの身になりました。今振り返ってみると、金井高校での6年間は私にとって大きな転機となりました。良いことも悪いこともありましたが、金井高校の生徒たちをはじめ、私のその後の人生や教員生活にとって大きな意味を持つ多くの人達との出会いがありました。

皆さんも金井高校創立50周年とともに、ちょうど50歳を迎えたところですね。人それぞれ、これまでの人生で、多少なりとも様々な困難や挫折、不安や苦しみを経験しながらも、それを乗り越えて現在の生活を楽しんでいることと思います。これまでの人生を振り返りつつも、これから先のまだまだ長い人生に思いを馳せて、しっかり自分なりの人生を歩んでいってください。皆さんのご健康とご活躍を祈ります。

3年 7組 田澤 博之 先生

3年7組の担任だった田澤博之です。

もうすっかり人生の様々な経験を積んだ皆さん、油の乗り切っている皆さん、毎日日々忙しく充実してお過

ごしのことでしょう。いくつもの壁や悩みを乗り越え、信じる道を自身の足で着実に進んでいることでしょう。私からの願いは、ただただこれからも毎日を元気に、楽しく幸せに過ごしてほしいということだけです。

思い返せば、皆さんが卒業した時、私は33歳という若造でした。65歳となった今でも若造気質（笑）は変わりませんが、当時英語の指導はもちろんのこと、担任としてまた人生において、知識や技術、経験不足が甚だしい中での皆さんとの毎日でした。ただ生徒たちを楽しませたくて、気持ちとやる気だけで突っ走っていました。今思えば、申し訳なくて思い出したくないこと、謝りたいことだらけです。当時、そんな私に対して、不満や不審感、怒りや憎悪感まで持っていた人ばかりだったでしょう。申し訳ない気持ちでいっぱいです。

（先生方も、同様だったことでしょう。）

とは言え、クラス会等で皆さんに会えば、懐かしいエピソードや楽しかった思い出ばかり。そして「今だから言えることシリーズ」などで笑わせてくれる皆さんに、本当に良い教え子たちと出会えたなあ、としみじみ思うばかりです。話を聞いて、社会や家庭で重要な役割を果たしている一人ひとりの頑張っている姿が目につく、こちらまで幸せな気持ちになります。

さて、田澤はその後、二校を経て61歳の時に教員を完全退職しました。その後教員以外の仕事を幾つか経て、65歳から自由な身となりました。教員時代には余裕がなくてできなかった数々の趣味に没頭の毎日です。

「YouTuberになります！」と退職の時に生徒たちに宣言しました。その後数年が経ちますが、納得のいく準備ができずにいまだに格闘中です。

またいつか皆さんと会って、活躍の様子や日常を聞きたいです。思い出話に花を咲かせたいです。「老害」になりつつあるので、自重して生活していきます。

これからの皆さんのさらなる活躍とご健康を祈ります。

2025.1.7. 元3年7組 担任 田澤博之